

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【公表番号】特表2011-527317(P2011-527317A)

【公表日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-043

【出願番号】特願2011-517170(P2011-517170)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	31/428	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	45/06	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	31/428	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	21/02	
A 6 1 P	9/04	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	25/04	
A 6 1 P	25/16	
A 6 1 P	25/28	
C 0 7 K	16/18	Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月11日(2012.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

筋萎縮性側索硬化症の治療または予防のための医薬の製造におけるNogoo-Aアンタゴニストの使用であって、該Nogoo-Aアンタゴニストは筋萎縮性側索硬化症の治療または予防のための抗グルタミン酸活性を有する化合物とともに投与される、前記使用。

【請求項2】

前記抗グルタミン酸活性を有する少なくとも1種の化合物がリルゾールである、請求項

1に記載の使用。

【請求項3】

前記Nogoa-Aアンタゴニストが抗Nogoa-A抗体である、請求項1に記載の使用。

【請求項4】

前記Nogoa-Aアンタゴニストがヒト化抗体またはヒト抗体である、請求項3に記載の使用。

【請求項5】

前記Nogoa-A抗体がH28L16(配列番号2および配列番号4)、H28L13(配列番号2および配列番号3)およびH27L16(配列番号1および配列番号4)のうちの1種である、請求項4に記載の使用。

【請求項6】

前記Nogoa-A抗体がH28L16(配列番号2および配列番号4)である、請求項4に記載の使用。

【請求項7】

前記Nogoa-Aアンタゴニストおよびリルゾールが患者に共投与される、請求項2~6のいずれか1項に記載の使用。

【請求項8】

1日約50mg~約150mgのリルゾールが前記患者に投与される、請求項7に記載の使用。

【請求項9】

1日100mgのリルゾールが前記患者に投与される、請求項7または8に記載の使用。

【請求項10】

リルゾールが経口投与される、請求項7~9のいずれか1項に記載の使用。

【請求項11】

約2mg/kg~40mg/kgのNogoa-Aアンタゴニストが患者に投与される、請求項1~10のいずれか1項に記載の使用。

【請求項12】

前記Nogoa-Aアンタゴニストが患者に静脈内投与される、請求項1~11のいずれか1項に記載の使用。

【請求項13】

前記Nogoa-Aアンタゴニストが1週間に1回、患者に投与される、請求項1~12のいずれか1項に記載の使用。

【請求項14】

前記Nogoa-Aアンタゴニストが2週間に1回、患者に投与される、請求項1~12のいずれか1項に記載の使用。

【請求項15】

前記Nogoa-Aアンタゴニストが4週間に1回、患者に投与される、請求項1~12のいずれか1項に記載の使用。

【請求項16】

患者が、ALS(筋萎縮性側索硬化症)の治療または予防でのリルゾールの使用に応答しなかったか、または不十分な応答を示したことがある、請求項1~15のいずれか1項に記載の使用。